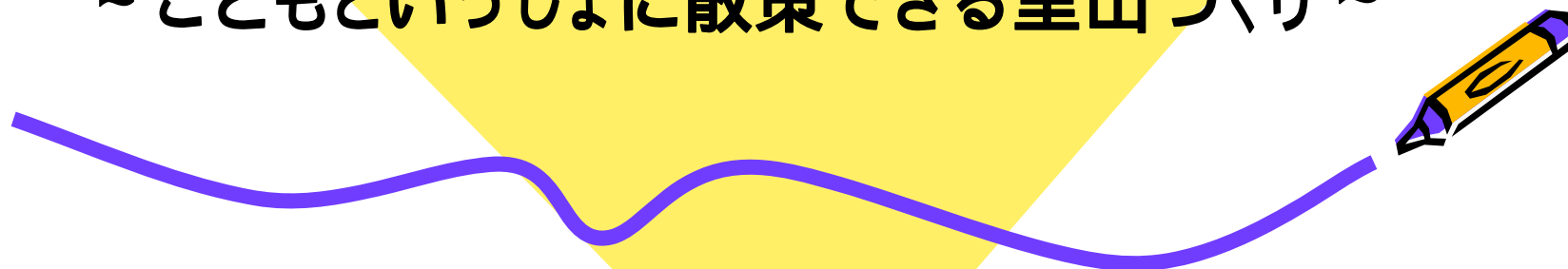


まちなかり山公園整備事業

～こどもといっしょに散策できる里山づくり～



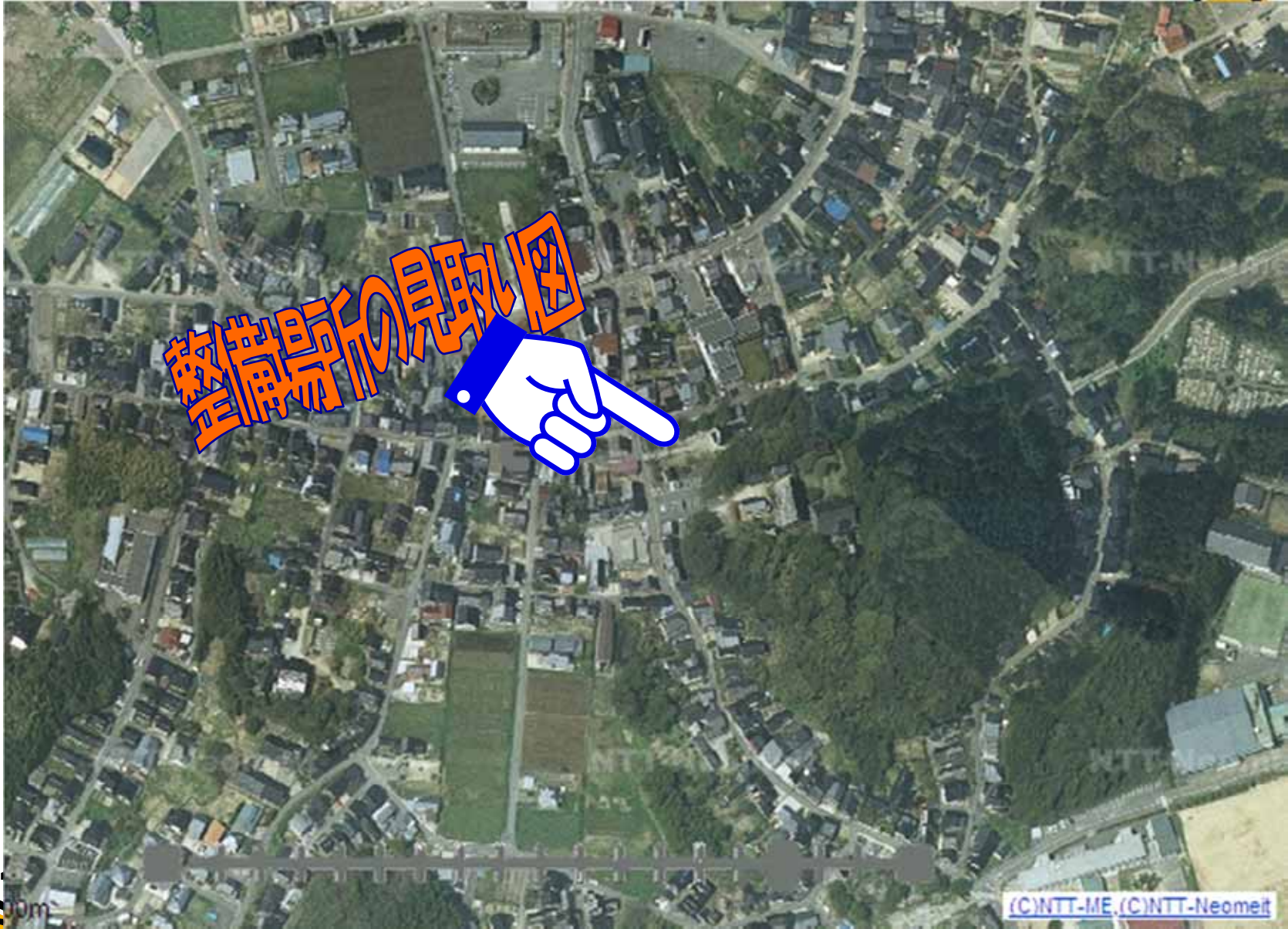
まちなかり山公園づくりの会



東嶺寺

和倉ゴルフ
センター

ランドサット画像の解析です。赤の部分が植生の豊かな場所で、東嶺寺のお山は町の中ですが、はっきりと読み取ることができます。町中でこのような広大な緑地を持つところは近辺市町村では存在しません。
ちなみに解像度は30mまで。



整備済みの見取図



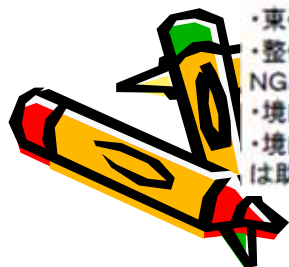
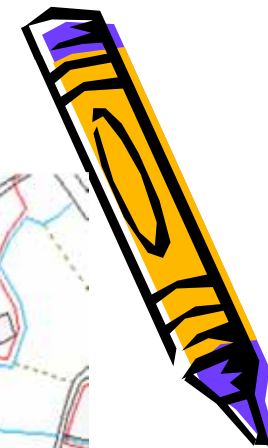
100m

(C)NTT-ME, (C)NTT-Neometit

整備箇所の見取図



- ・東嶺寺の青色部分は主に竹、オレンジは杉となります。
- ・整備する際は、湿地に生息する山野草は珍しいものがある模様ですので今後調査の際に留意事項かと思えます。特に水芭蕉等は水源が枯渇するとNGとなると思えますので上流域は落葉樹等の配慮が必要となると思えます。ついでにモリアオガエルも生息しています。
- ・境内の面積は約10,000坪あり、実際の整備は3,000坪程度かと思えます。
- ・境内に花や実のなる木々もちろんですが、ケヤキを数本植えると50年から100年後に寺の財産になる木も植えると嬉しいですね、大規模改修の際は助かりますし山の斜面をしっかりと保護してくれますから。



Toreiji Temple 東嶺寺



東嶺寺は、田鶴浜町を作り上げた
長 連龍及びその一族の菩提寺
建具の町興隆の基礎を確立した場所

町の中心に名実ともシンボリックな
「まちなかり山公園」を造成し、
将来の子供たちの健全育成と町民
の憩いの場、ひいては町外からの
観光客が訪れる場所にしようと
するもの

現在の生態系(*稀少
生物、環境)を保全す
る必要がある。

手入れする人も
少なく高齢化

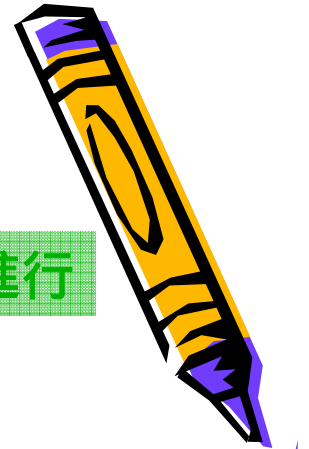
近年少子高齢化が進み、東嶺寺
山は竹や雑木、雑草などで荒れ
ている

* 稀少生物 = モリアオガエル、フクロウ、キツツキ、水芭蕉、エビネ、各種野生ラン etc



最短6年間の長丁場

ボランティアを募り交流参加型の事業進行



活動内容と進行予定

- (1) 現地の調査と企画 → 1年目
- (2) 竹林の整備と落葉樹、花木の植林 → 1年～3年目
- (3) 整備と整地 → 3年～5年目
- (4) 調整と管理 → 5年目～6年目

期待される効果

四季折々の里山散策ができるように安全な子供たちの遊び場、お年寄りの散歩ができる遊歩道もつくり、加えて東嶺寺を拠点とした歴史的な背景を知りたい観光客を招き入れる場所になっている。

背を向けている町内各戸の裏庭の美化も波及的に進み、近辺の安全確保がなされている。

手弁当で園内で森林浴ができ、四季を通じて野鳥の観察や、草花の観賞もしながら手近に遊歩が楽しめる里山の育成に貢献できている。





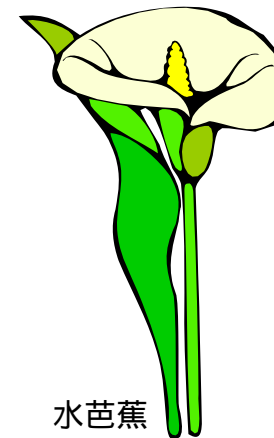
コゲラ



モリアオガエル

アピールポイント

“子供と一緒に散策できる まちなかの里山づくりをみんなの手で創りましょう。”



水芭蕉



活動で「優れている点」は何？

- (1) 継続性.....町民の憩いの場として長く管理永続するもの。
- (2) 成長性.....参加者に地域の新たな名所を造成する喜びと、モチベーションの高揚が図られる。
- (3) 地域性.....山林の整理、独自の里山保全さらにはこの里山ならではの快適性が生まれる。
- (4) 市民性.....住民参加型の事業であり、広く田鶴浜町の快適な自然造成につながる。

環境保全に力！ 安全・安心な地域づくりにも一役.....



平成23年度の活動計画（荒れた竹林の整備と法面の保護 = 1年目事業）

年 月	場 所	具体的な活動内容
平成23年度	4月	東嶺寺山と周辺地区 現地を視察し、どのように整備していくべきか、どのような公園にするのかの企画を建て案を練る。竹林の伐採整理を行う。
	5月	〃 整備計画、公園の将来企画作成。 竹林の伐採整理。
	6月	〃 整備計画、公園の将来像企画作成。関係者との打ち合わせ。 竹林の伐採整理。
	7月	〃 竹林の伐採整備と落葉樹、花木の植林計画・実施
	8月	〃 雑木・雑草整理と落葉樹、花木の植林計画・実施
	9月	〃 雑木・雑草整理と落葉樹、花木の植林計画・実施
	10月	〃 雑木・雑草整理と間伐。落葉樹、花木の植林実施
	11月	〃 雑木・雑草整理と間伐。落葉樹、花木の植林実施
	12月	
	1月	
	2月	事 務 局 次年度整備計画の策定。花木の施肥・消毒 先進地視察と今後の進め方打ち合わせ、上申。
	3月	〃 次年度整備計画の策定。 雑木・雑草整理と間伐。落葉樹、花木の植林実施



組 織

最初は5名程度で立ち上げたい。

公募などにより人員の増加、組織強化を図りたいが、最大30名程度、毎回参加者はその半数程度とする。

理事長を頭に副理事長、企画・渉外、会計を数名置き会員制を取る。

参加は原則自由だが登録と会費(年会費3,000円=傷害保険費)をお願いする。

留意事項

- (1) 草刈り機の講習会を受講しないと作業中にケガをしたとしても、労災保険や生命保険は降りないとのこと。講習会が必要かもしれない。社会福祉協議会の保険は適応か？
- (2) 安全装具の確保は個人装備なので事前に参加者に通知する。安全装具は最低限、安全帽、安全靴(JIS)、皮の手袋等が考えらる。作業前の誓約書等も是非取っておく必要がありそう。
- (3) 事前調査では、大げさだが環境アセスメントをアピールしていきたい希少なモリアオガエルも生息しているので、現在の生態系を守ることを前面に出す。小さな山だが、水源の保全で落葉樹の植樹をしていく。生物は、以前はフクロウ、キツツキも生息していた。
- (4) 住宅にある貴重な自然であり、積極的保全活動を念頭におく。七尾市内でも街の中でこれだけの森はなかなか無いと思う。当時の権力が物語る。
- (5) 人が多く入ると保全とのバランスが難しいので何か一工夫が必要。伐採等した木材等の再利用法(例えば、散歩道に敷き詰める等)を考慮
- (6) 和倉の禅寺の清林寺さんのお山はきれいにしているので一見の価値はありそう。視察先に考慮。近いし安い、能登七福神の一つにもなっているので周回性という点では東嶺寺と共通性がある。観光の面でも参考になる。



おわりに

長氏が浦野事件の後田鶴浜から引き上げて300年あまりになるが、今だに「長さま」を知らないものは田鶴浜の者でないと言われるくらいである。

現在でも東嶺寺では毎年秋に長 連龍公をはじめ、一族の霊を弔う法要が厳修されている。また、住吉神社の春祭りに曳かれる山車は、長氏が田鶴浜に居館を構えた折、住民がこれを祝った行事が伝えられ、今日も盛大に行われている。

さらに、町の特産「建具」も長氏によって始められたものであり、これを記念して毎年建具業者が集まり、長氏一族の法要を営んでいることなども長氏を偲ぶあらわれであろう。

これらのことを総合してみれば、長氏への尊敬はまだまだ深いものと感じられる。

明治維新後、長氏が一時金沢から田鶴浜の日和が丘に居館を構えたのも、住民の厚い信頼があったなればこそと思われる。温故知新 いきいきとした田鶴浜を！



植 樹 樹 木 の 種 類



山 桜



山法師



梅もどき



まんさく



朴の木



山 吹



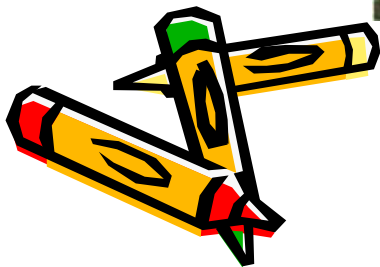
どんぐり(こなら)



もみじ



こしあぶら



温故知新 いきいきとした田鶴浜を！

